

第1回 長久手市の目指す環境目標を考えよう！

長久手市では、現在、第4次長久手環境基本計画の改定作業を進めており、行政職員の立場から、長久手の目指す環境像を考えながら、その実現に向けた取組みや、市民や行政の環境配慮の率先行動を考える機会をつくるため、職員研修の一環として、2年目の若手職員13名による3回にわたるワークショップを実施することになり、さる10月29日（火）午後から第1回ワークショップを開催しました。

第1回職員研修 長久手市の目指す環境目標を考えよう！を開催

- 日 時：令和元年10月29日（火）
13:30～15:30
- 会 場：長久手市役所北庁舎 2階
第5会議室
- 参加者：13名

プログラム

- 13:30 ① 開 会
 - ・開会あいさつ
 - ・趣旨説明
- 13:40 ② 環境基本計画とは？
 - ・長久手環境基本計画の紹介
- 13:50 ③ 長久手市の環境の良いところ、悪いところを話し合う！
 - ・3つのグループに分かれ、長久手市の環境の良いところ、悪いところを話し合う。
- 14:20 ④ こんな環境になったいいなあ！
 - ～長久手市版の環境目標を考える～
 - ・SDGsを意識しながら、長久手市版の環境目標を考える。
- 15:00 ⑤ 発表
- 15:20 ⑥ まとめ

① 開 会

最初に、環境課の富田課長より、職員研修の開催にあたってのあいさつを行いました。

第4次長久手環境基本計画の策定に向け、若者の立場で長久手市の環境目標を考えながら、市民として、行政として日頃の暮らしや業務の中でどのような環境行動ができるかなどを考えていく研修をしていくなどの趣旨説明を行いました。



② 環境基本計画とは？

環境課の佐藤主任より、長久手市では、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」を実現するための施策・事業を定めた環境分野の最上位計画となる長久手環境基本計画を策定していること、SDGsなどについて解説していただきました。



③ 長久手市の環境の良いところ、悪いところを話し合う！

ここからは一般社団法人地域問題研究所のスタッフに進行をバトンタッチし、3つのグループに分かれ、まずはグループの「進行役」、「書記」、「タイムキープ」、「盛り上げ」の役割分担を決めていただきました。

その後、各グループの進行役を中心に、長久手市の環境の「良いところ」、「悪いところ」を考え、カードに記入していただき、これらを1枚の模造紙にまとめていただきました。

環境の良いところでは、「公園が多いこと」、「自然が残っているところ」、「人口が増えているのにごみの量が減っていること」、「ごみの回収を工夫しているところ」などの意見が出されました。

環境の悪いところでは、「車が多く、渋滞が多いこと」、「花の名所が少ないこと」、「ごみの分別をしない人がいる」などの意見が出されました。

このような結果を踏まえ、最後に長久手の環境の「ベスト3」、「ワースト3」を考えていただきました。



長久手の環境の良いところ ベスト3

《Aグループ》

- 1位：公園が多い
- 2位：自然が多い
- 3位：住みやすい

《Bグループ》

- 1位：自然が豊か
- 2位：人の増加
- 3位：エコ・リサイクル施設の増加

《Cグループ》

- 1位：自然
- 2位：公園
- 3位：リサイクルごみ

長久手の環境の悪いところ ワースト3

《Aグループ》

- 1位：車が多い
- 2位：緑の偏り
- 3位：四季を感じられる花が少ない

《Bグループ》

- 1位：車の渋滞
- 2位：人の増加
- 3位：ごみの増加

《Cグループ》

- 1位：交通系
- 2位：リサイクルごみ
- 3位：自然

④ こんな環境になったいなあ！～長久手市版の環境目標を考える～

今度は10年後の長久手市の環境目標をグループで考えていただきました。

「長久手で環境を売るにしていこうとしたらいいのかわか？」「長久手の環境が世界に貢献できるようにするにはどうしたらいいのかわか？」など、SDGsも意識しながら、長久手版の環境目標を考えていただきました。

Aグループでは、「四季の移ろいを感じられるまち」、「道路に沢山の木があるまち」、「車以外の交通手段が充実したまち」、「ポイ捨てがないまち」、「子どもを安心して外に遊びに行かせられる環境」などのアイデアが出されました。

Bグループでは、「再生可能エネルギーで暮らせるまち」、「自家発電の意識が高いまち」、「ごみの分別がしやすく、リサイクルできるものが多い環境」、「車がなくても動きやすいまち」、「つながりの強いまち」などのアイデアが出されました。

Cグループでは、「目に優しいまち（ごみのポイ捨てなし）」、「子どもから高齢者が外に元気に出かけられるまち」、「ごみの排出量が少ないまち」、「どこにいても緑を感じられるまち」、「空気がうまい深呼吸ができる環境」、「ヒト、動物、誰もが住み続けられるように自然を残しつつ整備されたまち」などのアイデアが出されました。

長久手版の環境目標

◀Aグループ▶

「適度な緑があるまち」、「歩くのが楽しくなるまち」、「人生循環型のまち」

◀Bグループ▶

「いいリサイクルで いい未来クル！」

◀Cグループ▶

「目にやさしいまちは、人にやさしいまち」

⑤ 発表

各グループで話し合った「長久手市の環境の良いところ・悪いところ」と「長久手市版の環境目標」を各グループから発表していただきました。



⑥ まとめ

グループの発表で出された内容をもとに、環境課、地域問題研究所のスタッフからそれぞれ感想などをいただきました。

長久手の環境は「公園や自然が多いこと」、「ごみのリサイクル施設が充実していること」などの良い環境がある一方で、人口が増加し、「交通量も多くなってきていること」、「ごみも増えてきていること」、などが、どのグループも共通してあげられました。また、今後の環境目標としては、「リサイクルなどの好循環な社会をつくること」、「人にも自然にやさしい環境を作ること」など、自然と暮らしが調和し、人と人、人と環境とのつながりを作ることができる環境を目指すことが共通するキーワードとして出されたことが述べられました。

最後にアンケートにも協力いただき、2時間にわたる第1回職員研修が終了しました。



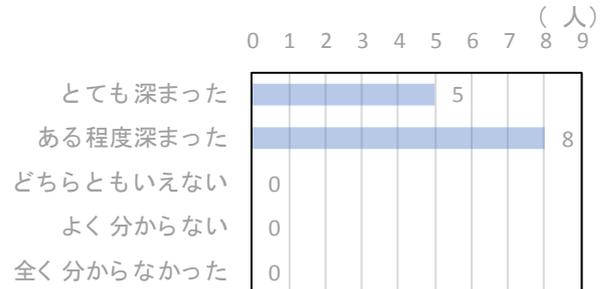
◆次回は、12月12日（木曜日）午後1時半から開催します。

◆次回は、「低炭素社会」「循環型社会」、「自然共生社会」を実現するための取組み、行動などのアイデアを考えるワークショップを予定しています。

長久手市環境課 0561-56-0612 担当：嗟峨、佐藤

Q1 環境への理解は深まりましたか？

今回の研修を通じて環境への理解は、「とても深まった」が5名、「ある程度深まった」が8名となっています。



Q2 今日のワークショップを通じ、気になった言葉を3つ書いてください。

- 循環・循環型社会 (6名)
- つながり・人とのつながり (6名)
- やさしい・人にやさしいまち・生き物にやさしい・目にやさしい・目に優しいまち (5名)
- SDGs (4名)
- 歩いて楽しい・歩いて楽しめるまち・車がなくても動けるまち (3名)
- 持続可能 (2名)
- 自然共生社会・自然と生活の調和 (2名)
- リサイクル・リサイクルで未来クル (2名)
- 暮らしやすいまち
- 再生可能エネルギー
- 長久手の生き物
- 緑や花
- あじさい
- たのしい
- 低炭素
- 転入者にもわかりやすい
- 横断的

Q3 本日のワークショップについてのご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・長久手の環境について考え直せる機会になった。市外の出身者が班に3人いたので、なかなか考えを深めるのが難しかった。
- ・10年後の理想の長久手市像がどのグループも類似しており、目指す長久手市像は共通するものだと感じました。
- ・ワークショップ自体が温かい雰囲気、同期しかいないということもあり、自分の考えを伝えやすかった。「環境＝ごみ、自然」だったところが、人のつながり、住みやすいまちづくりにつながっていくことに気づけた。
- ・みんな考えてることが大体一緒だったので、自分の考えは一般的だったのだと安心したとともに、ちょっと面白みに欠けると感じました。次はもっと色々な意見を出せるといいなと思います。
- ・縦割りの考えが染みつく前に若手職員でSDGsの考えを通して話し合えるのはいい機会だと思った。
- ・環境について出る意見は皆、似たものが多かったけれど、1つの意見が色々な所につながっていたり、循環したりするのが面白かった。
- ・自分とは違った視点の意見を聞くことができ、とても長久手の勉強になった。
- ・普段の業務の中でなかなか考えることのない問題なので、とても新鮮な気持ちで取り組むことができた。
- ・自然が多いことなど良い所を再認識できました。
- ・環境と一言と言っても様々な課題や問題があることが学べて良かった。(環境課の枠だけでおさまらない)
- ・普段当たり前に感じていることが、環境でつながるような内容だと感じました。
- ・環境と言っても自然以外に様々なものがある。それがつながって良い未来を作っていくことが学べた。
- ・気心知れた仲でのワークショップだったので、ざっくばらんに意見が聞けて良かったと思う。

Q4 担当する業務の中で、環境問題とつながっていると感じることについてご意見をお聞かせください。

- ・窓口に来ることが難しい（足がない、体調がすぐれない、忙しい）方もいるのに、気安く市役所に来るように伝えてしまう。来直してもらわずに済むようなわかりやすい案内をしたり、交通の便を気になるべきだと気づいたし、結果的に環境に優しい選択につながると思った。
- ・交通整備が不十分であるため、高齢者が引きこもり、必要な健診、医療を受けられない。
- ・児童クラブ（放課後の預かり事業）を担当しているのですが、再生紙を使ったり、自然と触れ合うような活動運営をしていくことで、子ども達への環境への理解が深まるのではないかと思いました。次回のワークショップまでに自分もつながりについて考えて、業務にあたりたいと思います。
- ・広報の紙面削減。1部8枚×287,000部の紙が毎月広報として使われていますので、なかなか難しいですが、減らせると良いと思っています。
- ・書類がとてつもなく多い。電子化すべきところはしていけば紙は一気に減ると思う。
- ・課の主催で史跡めぐり講座などをやっているが、そうやって歩くのが楽しくなるまちになると、車を減らすことにつながるかもと思った。
- ・下水道普及率を上げることで、蚊の発生や悪臭を減らすことができたりする。
- ・市内の企業が増えれば増えるほど、人の往来も多くなり、低炭素社会の実現から遠のいてしまうのではないか。
- ・自然と触れ合うことは、とてもリラックスする効果量が高いと聞いたことがあります。うつ病の方などと接する機会もあるので、自然があることはとてもいいことだと思いました。
- ・転入者へのごみの出し案内
- ・学校の施設管理を行っているが、修繕や工事等の対応でリサイクルやエコ素材等の利用を取り入れることが必要だと思った。
- ・高齢者移動支援の乗合タクシーなどがCO2削減につながると思う。
- ・東部の緑を残すこと、西部の緑を作り出すこと、市街地の中での緑づくり

第1回 職員研修 ワークショップ 各グループのまとめ

Aグループ

■長久手の環境の良いところ

1位	2位	3位
公園が多い	自然が多い	住みやすい

タイトル		内容、理由
公園	モリコロパークがある	緑が多くたくさん歩き回れる
	大きな公園がある	モリコロがある
	公園がいっぱいある	子どもたちが自然と触れ合える
	公園がある	ちょっと歩くと公園があり、子どもが遊べたり、お散歩の休憩拠点にできる
自然	自然がある自覚がある	平成子ども塾などで小さいころから自然を学べる
	すぐに自然に触れることができる	市内に田、湿地などがあるので短時間でいくことができる
	田んぼが近くにある	住宅地のすぐそばに田んぼがあり吹き抜ける風やカエルの鳴き声に自然を感じる
	木が多い	他市町村に比べても歩いて道に木が立っていることが多い。さらに手入れもされている
その他	住みやすい	子育てしやすい。豊田や名古屋に行きやすい人のつながりがある
	道路がキレイ	グリーンロード、走りやすい

■長久手の環境の悪いところ

1位	2位	3位
車が多い	緑の偏り	四季を感じられる花が少ない

タイトル		内容、理由
交通手段	公共交通機関	ちょっとアレなので車が増えてしまう
	車が多い	常に混んでいる
	駐車場不足	公共施設の駐車場が不足している（人口増加）
	道路（車道）がせまい	よく渋滞している（市役所前の道など）
	道に迷う	道路がまっすぐでなく曲がっていたりしてどこにたどり着くのかわからない
	坂が多い	車イス・ベビーカーが大変
東西問題	若者のみどりへの意識	緑への考えが年齢によって違う
	みどりの偏り	西側は緑が少ない
ごみ	ごみが荒らされることが多い（カラス）	平日の朝、出勤しているとごみが荒らされていることが多い
その他	花の名所が少ない	桜くらいしかない、その他の季節の花がない
	変な虫が湧いているところが多い	木をうえばなし？
	アジサイが少ない	

■長久手市版の環境目標 ～歩くのが楽しくなるまち、適度な緑があるまち、人生循環型のまち

環境目標	
適度な緑があるまち	花の名所、自然に市民が集うことができるような環境
	四季のうつろいを感じられるまち
	道路にたくさん木があるまち
	新しい花の名所ができて。さつき、あじさい、ひまわり、コスモスなど
	適度な緑
歩くのが楽しくなるまち	市外からも人がくるみどりイベント
	車以外の交通手段が充実したまち
	車が減ったらいいな
	みんな自転車移動で健康に！車の渋滞を減らし、健康寿命も延びる

環境目標	
人生循環型のまち	子どもを安心して外に遊びに行かせられるような環境
	各地域の問題をその地域の住民で解決できるような環境
	ポイ捨てがないまちがいいな

Bグループ

■長久手の環境の良いところ

1位	2位	3位
自然豊か	人の増加	エコ・リサイクル施設の増加

タイトル		内容、理由
緑・自然	東部の緑	心のやすらぎ。鳥・虫などの生物
	花	駅周りに花が植えてある
	草	道に草が生えていない
	都市と田園が共存	西は都市、東は田園
	香流川	きれい、水遊びができる
	芝生の公園	のびのび遊べる
	市街地の緑道	きれい、歩くと気持ちいい
	緑が多い	緑がふれあえる場所がたくさんある
ごみ	湿地	レアな生物
	人の量が増えたのにごみの量が減っている所	転出入などが多いのでごみの量など増えそうだが減っている、2人以上の世帯
	ごみダンボールや洋服等をリサイクル出せるところが多い	ごみの不法投棄が少ない 気軽に出来るためごみにならない
環境	太陽光発電	公共施設に設置有
人口	子どもが多い	子どもが増えると活性化する
車・建物	雨	注意報出にくい
	建物	昔ながらの家がある

■長久手の環境の悪いところ

1位	2位	3位
車の渋滞	人の増加	ごみの増加

タイトル		内容、理由
緑・自然	グリーンロードに緑がない	さみしい
	公園の落ち葉	たくさん落ちる
	樹木の未処理	緑が多くてよいはんめん手入れが大変
	かもだかわ	草ボーボーきたなくみえる
	川	川沿いがキレイとは言えない
	ハチが多い	
ごみ	ゴミ捨て場が汚い	曜日を守っていない人が多い、カラスなどが散らかしてもほったらかしの人が多い
	燃えるゴミにプラを入れている人など分別していない人が多い	分別すればリサイクルできるものを燃やしている
環境	年中クールビズ	ネクタイがいや、スニーカーやサンダルがいい
人口	人	人が増えている→増えた分問題も増加
車・建物	屋上緑化	ほしい
	大通りの道路の車の量	朝、夕の交通渋滞
	道路	道が混む
	車が多くて渋滞が多い	CO2 もくもく
	公園	設備が不十分

■長久手市版の環境目標 ～いいサイクルで、いい未来クル！

環境目標	
エネルギー・リサイクル	リサイクル・中古が当たり前
	ごみの分別がしやすくリサイクルできるものが多い環境
	住民が自家発電の意識が高い
	再生可能エネルギーで暮らせるまち
自然	果物がなっているゾーンが欲しいな
	都市の中に緑が溢れている
	川がキレイ
	10年後も緑が残っていて自由に遊べるような環境だったらいいな
人	子どもの遊び場がたくさん
	人口がほどほど
コミュニティ	市民みんな友達
	つながりの強いまち
防災	災害に強いまち
道路	道が整備されたまち
移動手段	車がなくても動きやすいまち

Cグループ

■長久手の環境の良いところ

1位	2位	3位
自然	公園	リサイクルごみ

タイトル		内容、理由
自然	川の氾濫が少ない	他市と比べて警報が出にくい。川の氾濫が少ないので安心。地震の時の液状化少ない？
	多く残された自然	市役所北川などの田園風景
	ところどころに緑・植物	道路そばに花・緑を植えておりポイ捨てをなくそうと努力
	都市部と自然部のコンビネーション	名古屋近く都市的な部分と美しい田園風景や深い森といった自然が同時に存在しているまた、リニモで東西がつながっていてアクセスもしやすい
公園	公園が多い	子どもが遊べる場所が多いため子育てするのに環境がいい
	住宅、公園、畑と整備されている	区別・整備することで住みやすかつ自然保護している
リサイクルごみ	ごみの回収を工夫している	エコハウスを設置し、曜日関係なく回収できるのはうれしい
交通系	リニモ	環境にやさしい。イオンにリニモでいくと割引券がもらえる。渋滞知らず

■長久手の環境の悪いところ

1位	2位	3位
交通系	リサイクルごみ	自然

タイトル		内容、理由
自然	枅ヶ池が夏少し汚い、くさい	藻が繁殖している、ウォーキングに不快
	自分がどれほど環境にやさしいかわからない	見える化がない。やりたいが見つげづらい。環境を守る＝我慢すること？
リサイクルごみ	ごみの分別があいまい	プラと燃えるゴミしかない。夜ごみを出している
	ごみの分別をしない人たちがちらほら	回収日を守らない、回収されなくてもそのまま放置している
交通系	交通網が不十分	バスはあるが足りていない。リニモは高い

タイトル		内容、理由
	道幅が狭い	歩道がなく車道も狭い場所があるため危険を感じる
	街灯が少ない	夜、人が少なく暗いところが多い
	車を使用する人が多い	排気ガスで空気汚染

■長久手市版の環境目標 ～目にやさしいまち、人にやさしいまち

環境目標	
人に優しい	いつまでも子どもが外で遊び続けられる環境
	子どもが安心して遊べる環境
	たくさんの体験学習ができる環境
	子どもから高齢者が外で元気に出かけられるまち
	転入・転出者に優しいまち
目に優しい	芝生で読書、ピクニックできる風休み
	目に優しいまち、ごみ捨てポイ捨てなし
リサイクル	ごみ排出量が少ないまち
自然	どこにいても緑を感じられるまち
	空気がうまい、深呼吸できる環境
	川で遊べる、生物と身近にふれあえる
自然と生活の調和	ヒト、動物誰もが住み続けられるように自然を残しつつ整備されたまち
	自然を活かした商店街のような明るい道を作る
	自然を残したまま交通の便がいい環境